

# 風船ぐるぐる

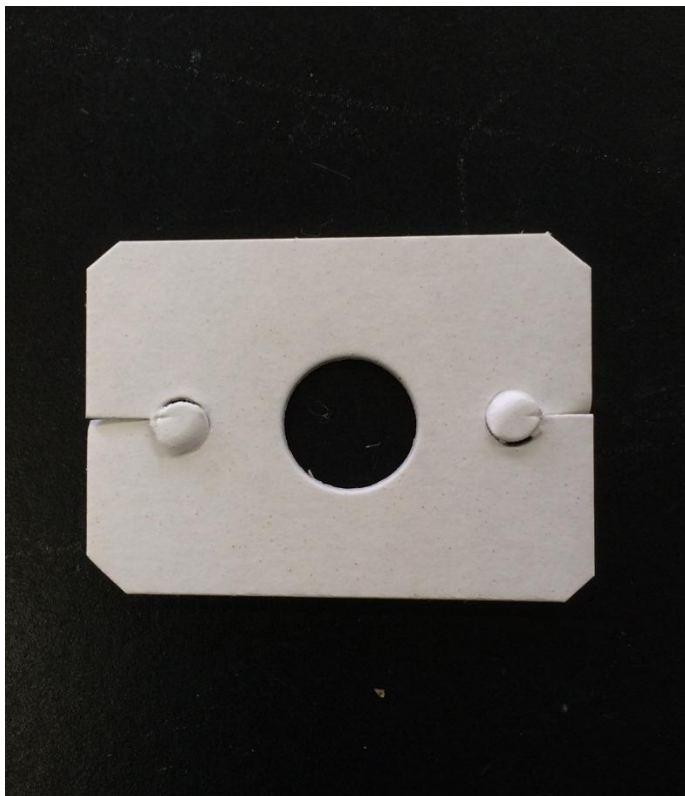


風船をつなげてブロワーで風を送ることで、風船がぐるぐる回転して空中に浮かびます。この画像では、17個の風船をつなげていますが、これを23～25個程度つなげて、ブロワーの風の当て方を調整すると、人が通り抜けることができる「風船輪くぐり」ができます。

さて、この風船ぐるぐるを子ども一緒に行うにあたって問題になったのが、

- ・子どもが、風船を膨らませるのが難しい。
- ・子どもが、風船の口をとめることができない。

ということでした。そこで、風船の口留めを開発しました。



工作用紙より少し厚い紙がいいようです。

3 cm × 4 cmの厚紙の中心に10 mmの穴をポンチで開けました。

両側の穴は、歯止め用のパンチで穴を開けています。この穴の場所が真ん中の穴に近すぎる（4 mm以下程度）と、破けてしまって使い物にならなくなるようでした。

真ん中の大きな穴から風船の口を出して風船を膨らませます。風船が目的の大きさになったところで、小さな穴に引っかけて内側から回し、もう片方の小さな穴に引っかけて留めます。

風船を膨らませるのは、市販のバルーンポンプが便利です。押しでも引いても空気が入ります。小学校3年生の子どもでも十分使いこなせていました。